

3.1.4 EMC ユニット

目 標

多くの機器が無線端末化されるユビキタスネットワーク時代に、人体にも通信システムにも安全で安心な電磁環境を作るための技術開発を総合的に推進するため、NICT の関係部署間の調整を図るとともに、外部と広範に連携し、我が国のトータルな電磁環境 (EMC) 問題を解決するための研究開発を推進する。

目標を達成するための内容と方法

- (1) 無線通信部門 EMC センター、拠点研究推進部門仙台 EMC リサーチセンター、企画部及び関係部署の関係者で構成される「EMC ユニット」を組織化する。
- (2) NICT として総合的に EMC 研究開発を推進するため、また、研究成果をアピールするために、ユニット内関係部署の調整・協力及び情報の共有を行う。
- (3) EMC ユニットとして研究発表会などを実施する。



特 徴

各センターが産学官連携の研究体制で取り組んでいる研究開発業務を、NICT 内で調整・協力・共有することで、NICT 外部とのより広範な連携と総合的推進が達成できる。

今年度の報告

今年度の主な成果

- (1) 無線通信部門長をユニット長とし、無線通信部門 EMC センター、拠点研究推進部門仙台 EMC リサーチセンター、企画部の関係者で構成される「EMC ユニット」を組織化・発足させた。
- (2) NICT の EMC 研究成果を内外にアピールするために、仙台 EMC リサーチセンター主催の「電波の三次元可視化技術の研究開発成果発表展示会」の研究発表会を実施した。併せて NICT/EMC ユニットのポスター展示・広報活動を実施した。
- (3) EMC ユニットメーリングリストを利用し、各センターが産学官連携の研究体制で取り組んでいる研究開発業務を、NICT 内で調整・協力し、情報を共有する体制を整備した。